

2021年7月15日

カバンを開けずにガソリンなどの液体を発見する液体物検査器 BLS-100 を販売開始

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（社長：小西 康弘、東京ガス株式会社 100%出資子会社、以下「TGES」）は、独自の技術で、カバンを開けずにカバンの中に隠されたガソリンなどの液体を発見する液体物検査器「BLS-100（以下「本製品」）」を開発し、本日より販売を開始しました。

<本製品の特徴>

- 手荷物の中の液体物を、機器にカバンを置くだけで検知
- カバンを開ける必要がなく、プライバシーに配慮
- 検査時間は約5秒と短時間
- X線などの放射線を使用しない仕組みで、どのような材質のカバンでも検査可能
- 100Vの電源があればどこでも検査可能。付属のキャスターで移動もラクラク。
- 重量計測も行い、過重物の発見も可能

<開発の背景>

昨今、ガソリンなどを使った放火事件は甚大な被害が懸念され、防犯対策が求められています。生活必需品である燃料は、入手、運搬を制限することが難しい実態があり、犯罪を未然に防ぐためには人の集まるターミナルや交通機関、イベント会場、スタジアムなどへのガソリンの持ち込みを阻止することが重要となります。しかし、すべてのカバンを開けての検査は、プライバシー、検査コスト、交通機関の利便性の著しい低下など、社会的負荷が大きいことが課題です。

TGES は以前より国内の空港や海外の地下鉄などで採用されたペットボトルや缶に入った可燃物を発見する液体検査物検査装置を製造、販売しておりました。今回、その知見や技術を活かして、かばんごと装置におくだけで液体を高速検査できる本製品を開発しました。

TGES は、エンジニアリングソリューションの提供を通じて、安心・安全な社会づくりに貢献してまいります。

<機器外観写真>



<検査イメージ>



※プロトタイプのため、実際の製品と仕様が一部異なる部分がございます。

<デモンストレーション動画>

<https://youtu.be/JTI-YcLl8Fg>



<主な仕様>

項目	内容
サイズ(mm)	700 (W) ×670 (D) ×900 (H)
重量	54kg (移動用キャスター付き)
電源	AC 100V
検査時間	約 5 秒
検査可能なカーボン材質	どのような材質でも検査可能
検知可能な液体種別	液体の種別によらず検知可能。(液体種別の判定はできません)
価格	308 万円 (税抜価格 280 万円)

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 会社概要

- ・設立 2015年4月1日
- ・資本金 100億円(東京ガス株式会社100%出資)
- ・代表名 代表取締役社長執行役員 小西康弘(東京ガス株式会社 常務執行役員)
- ・売上高 1,393億円(2020年度)
- ・従業員数 1,190名(2021年4月1日現在)
- ・主な事業 LNG受入基地、高中圧導管、ガス供給設備、発電設備、エネルギー利用設備等のエネルギー関連設備の計画・設計・施工・オペレーション・メンテナンス、関連する機器等の販売に関する事業、マッピング・周辺業務に関する事業(ソフト開発・販売、データ構築・更新、機器販売等)、オンサイト・エネルギーサービス事業、地域冷暖房事業等

<本件に関するお問合せ先>

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

人事総務部 広報グループ 島川・佐藤 電話：03-6452-8407